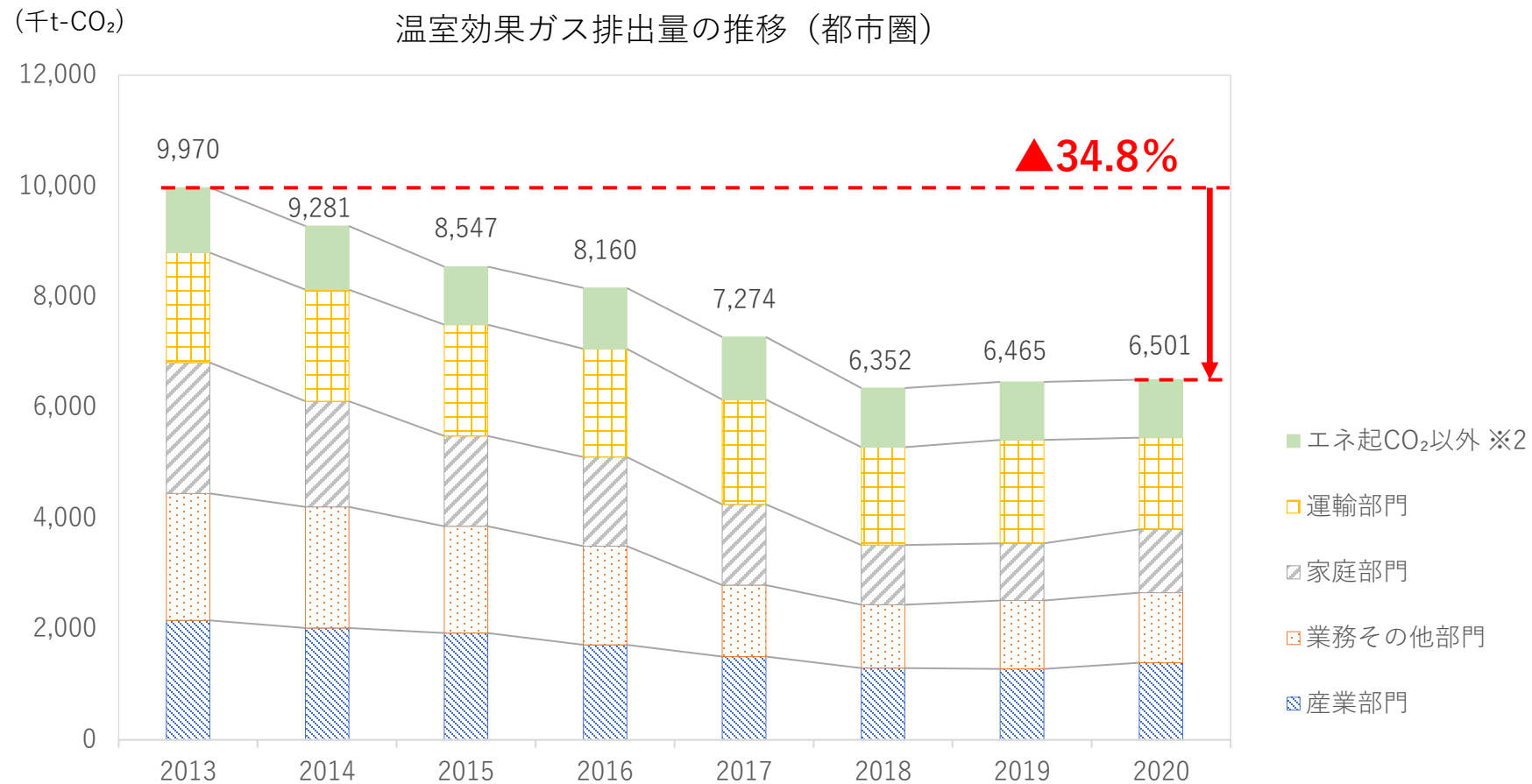


熊本連携中枢都市圏における令和2年度（2020年度）の温室効果ガス排出量について

- 都市圏域における令和2年度（2020年度）の温室効果ガス排出量は約650万 t - CO₂で、基準年度比 ▲34.8%、前年度比 +0.6%
→熊本連携中枢都市圏地球温暖化対策実行計画における**2025年度目標値（33%削減）を達成**。
- 長期的には、再エネの普及等による電力排出係数※1の低減や省エネの進展等により減少傾向。
※1 電力排出係数：電力を発電するためにどれだけのCO₂を排出したかを表す係数



※2 エネ起CO₂以外：エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス。農業分野（家畜排せつ物、水田の中の微生物の反応等）や廃棄物分野（廃棄物の焼却等）が含まれる。

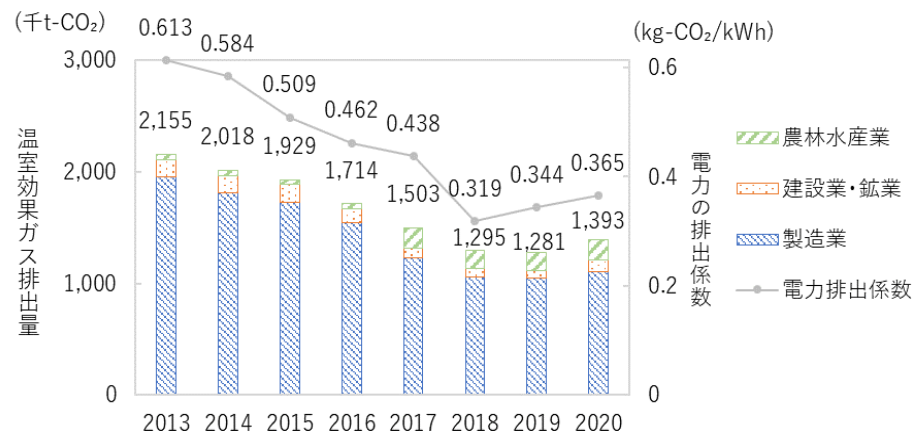
熊本連携中枢都市圏における令和2年度（2020年度）の温室効果ガス排出量について（部門別）

○すべての部門において排出量の削減が進んでいる。

○中長期の目標達成に向け、引き続き、家庭や業務部門の省エネ・再エネ普及を促進するとともに、運輸部門の取組強化が必要。

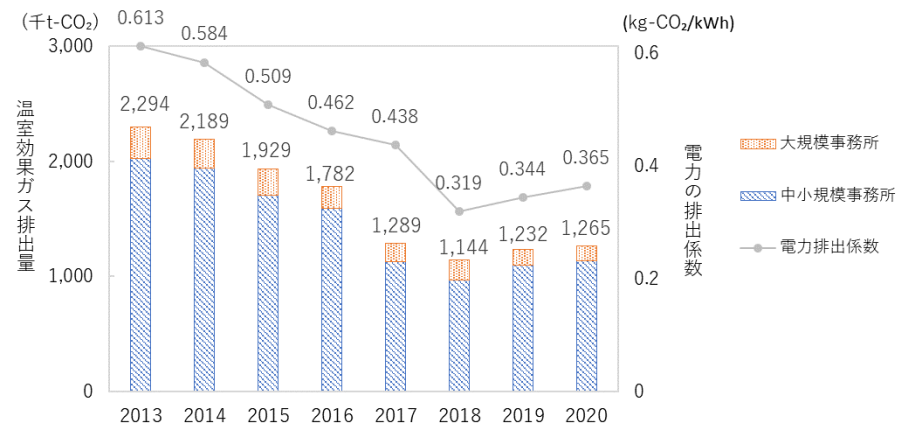
○産業部門

▲35.3%
(基準年度比)



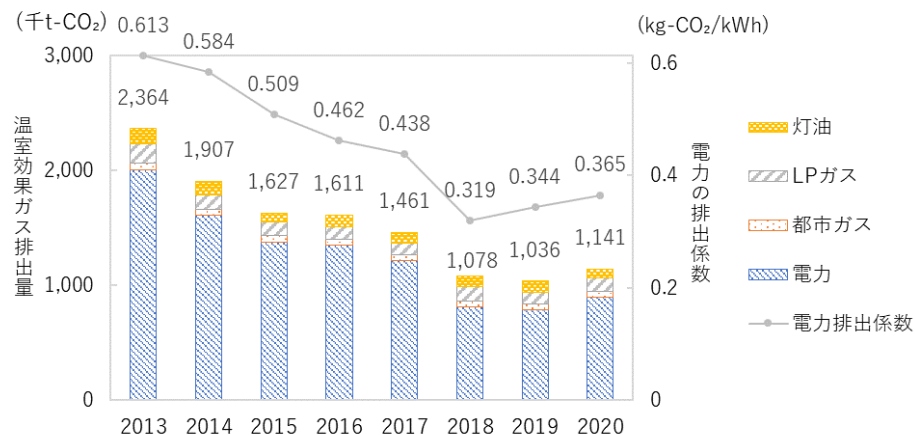
○業務その他部門

▲44.9%
(基準年度比)



○家庭部門（家庭におけるエネルギー消費（車除く））

▲51.7%
(基準年度比)



○運輸部門（自動車（自家用含む）・鉄道・船舶）

▲16.4%
(基準年度比)

